

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度 第1回登米市社会教育委員会議
開 催 日 時	令和5年3月28日（火） 10時10分 開会 11時50分 閉会
開 催 場 所	中田生涯学習センター 2階 学習室
議 長 の 氏 名	三上 末男
出席委員の氏名	三上 末男 阿部 洋一 鈴木 香 岩渕 俊文 野家 数夫 鈴木 均 小野寺 実 長倉 清敬 以上8名
欠席委員の氏名	大森 誠志 山形 利文 以上2名
事務局職員職氏名	教育長 小野寺 文晃 教育部長 小林 和仁 教育部次長 菅原 正博 生涯学習課 課長 山形 敦 迫図書館館長兼登米図書館長 及川 幸記 生涯学習課 係長 佐々木 俊樹 生涯学習課 主査 伊東 智 生涯学習課 主事 但木 康平
議 題	登米市図書館構想の見直しについて
会 議 資 料	別紙のとおり
会 議 結 果	【全て協議事項のみ】
会 議 経 過	別添のとおり
会 議 資 料	【事前送付資料】 資料1：新図書館整備に係る令和4年度の取組について 資料2：新図書館整備に関する市民アンケートの調査結果【概要版】 資料3：登米市の新しい図書館を考えるワークショップ実施報告書 資料4：登米市図書館構想見直しに係る新旧対照表 資料5：登米市図書館構想（素々案）

発 言 者	議 題 ・ 発 言 ・ 結 果
事務局	(開会)
議長	開会の挨拶
教育長	挨拶
事務局	欠席の委員が2名、遅刻の委員が1名、出席が過半数を超えていますので、会議が成立していることを報告します。
	それでは三上議長に議事を進めていただきます。
議長	(協議)
	登米市図書館構想の見直しについて、事務局より説明をお願いします。
事務局	【資料に基づき説明】
委員	見直し案については、時間をかけ入念に作られていたと思う。ただ、登米市の図書に関する現状を見ると数値がすべて低い。それは人の問題なのか、図書館の問題なのかを考えると不便な図書館に起因していることの方が多いと思う。そのため新図書館には大いに期待している。また、全体的に読書離れが進んでいると感じる。人が育つために何が必要か考えると、コミュニケーションと読書だと思う。図書館を建てて終わりではないと思うので、建ててからのソフト事業も充実させてほしい。
委員	小・中学生の本を読む割合は、昔と比べて変わらないのか、減ってきているのか。
委員	社会の在り方が変わってきている。図書館を建てた後でどう運営していくかが課題となってくると思う。
事務局	図書館を建てて終わりではなく、魅力あるイベントの開催や学校との連携、地域のボランティアなどと様々な企画について話し合うなど、新たな取組を図書館の整備とともに進めていきたい。読書離れについても、読書習慣が登米市の文化として定着していくようにしたい。
事務局	小・中・高校生1人当たりの年間読書冊数を平成25年と令和2年で比較すると、小学生では、平成25年が8.4冊、令和2年も8.4冊と同数で、中学生では、平成25年が3.5冊、令和2年は4冊と

事務局	<p>増加傾向にあり、高校生では、平成 25 年が 2.9 冊、令和 2 年は 2.4 冊と減少傾向となっている。資料 4（登米市図書館構想見直しに係る新旧対照表）14 ページのとおり、学校などと連携しながら読書習慣の定着に努めて参りたい。</p> <p>各学校に配置している上杉文庫の利用状況について、小学生が高い割合で利用しているのに対して、中学生になると大きく減少している。また、図書館の利用状況として、60 歳以上の方が利用者の多数を占めている。</p>
委員	<p>資料 4（登米市図書館構想見直しに係る新旧対照表）17 ページの図書館機能の一元化について、今ある登米図書館・中田図書室の機能をどのようにしていくかも議論して行ってほしい。地域住民からも各公民館が持っている図書館機能を残してほしいという意見が出てくると思うので、そういった意見にも対応してほしい。また、メディアスペースの面積が少ないと思った。映像資料といった視聴覚センターとしての機能が少ないのではないかと。</p>
事務局	<p>既存の図書館等を一元化することで、職員体制であったり、蔵書資料の効率化を図ることが可能となる。その一方で、現在図書館等の近くに住んでいる方が、一元化に伴い図書館から遠くなってしまうことも考えられるので、それに対応するため、図書館に行かなくても図書の借受・返却ができるサービスなども含めて検討していきたい。また、デジタル技術を活用して、どこにいても図書サービスを受けられるような体制の構築も図っていきたい。さらに職員を集約することで、開館時間の延長や開館日の拡充が可能となると考えている。</p>
委員	<p>公民館にある図書機能はなくすのか。</p>
事務局	<p>なくさずにこれまで通り管理してもらおう。</p>
委員	<p>先進的な図書館があれば教えてほしい。</p>
事務局	<p>震災以降、各自治体に新しい図書館が整備された。それらは本を読むだけでなく 1 日過ごせる施設が多い。人が集まる施設には共通項があると思うので、そういう部分を盛り込んでいきたい。市民の意見や外部の学識経験者などの意見を参考にしながら、市の人口や財政規模にあった施設の整備を進めていきたい。</p>
委員	<p>図書館が完成してからの運営が気になってくる。行政だけでなく</p>

	<p>市民とともに作り上げていく過程が必要になってくる。これからの図書館は本だけでなく映像も一緒に見られる時代になってきていると思う。映像だけで物足りない時に本で詳しく調べられるようにしたらいいのでは。このようなことから、図書館と視聴覚センターは一緒にした方が利用者からしたら利用しやすいと思う。それから、スマホを使ったサービスや足の悪い方への配本サービスなどがあればいいと思う。</p>
事務局	<p>図書館については、建物を建てて終わりと言うことではなく、市民の方に利用してもらって初めて図書館と言える。視聴覚センターについては、ご意見いただいたとおり、図書館と一緒にした方が利便性が上がると考えている。現在、図書館の蔵書はインターネットでの予約ができない状況となっているが、新しい図書館の整備に合わせてインターネットから予約できる環境を整備したい。</p>
委員	<p>図書館に来られない人のために本の配達のボランティアなどはどうか。</p>
事務局	<p>運営に当たっては、市民の方々の意見を反映させるとともに、ボランティアなどの協力をいただければと考えている。</p>
教育長	<p>最大のポイントは図書館を建てた後である。その先がないのでは意味がない。図書館自体をどう活用していくのかも含めながら、構想段階から念頭において進めなくてはならないと考えている。また、登米市は全国的に見ても児童の読書冊数の平均値がかなり低いのも現状である。市の事業として、新生児に絵本を贈呈する事業がある。本による育児支援や幼児教育を推奨していきたい。視聴覚センターは図書館の中に入れるのか、一体化させるかは別として視聴覚センターの機能は図書館機能と常に身近なところに置きたい。6つの基本理念を大事にしながら、ハード事業を行ったら次はソフト事業を育てていきたい。そのためには、図書館を利用する市民の方の協力は欠かせない。ボランティアと協力しながらともに図書館を育てていきたい。</p>
委員	<p>様々な機能、施設があるので有効な複合施設を造ってほしい。</p>
委員	<p>図書館はいつ完成するのか。</p>
事務局	<p>構想上では令和 10 年の開設を目標としているが、複合化に伴い図書館単独で進められない部分もある。そのため現時点では、何年とは申し上げられないことでは承願う。</p>

